

# PTA活動

## 地域から愛され 信頼される伝統校

大□高等学校 PTA会長 別府 弘律

本校は大正11年創立の旧制鹿児島県立大□中学校と旧制大□高等学校を前身としており、今年で創立94周年を迎える歴史と伝統を誇る学校です。これまでの卒業生は22,000人を超え、地元はもとより日本各地で活躍しています。北薩の雄である普通科進学校として、現在8クラス、210人の生徒たちが、豊かな自然に囲まれた学び舎に集い、「剛・和・新」の校訓のもと、学校行事や勉強・スポーツにと楽しく高校生活を送っています。

### 大□高校の紹介

毎年、約9割の生徒が進学しており、政治や経済をはじめ、美術家、漫画家、俳優などの芸術・文化の分野でも、多くの卒業生たちが活躍しています。2015年度には「進学指導重点支援校」に選定されました。

部活動面では、10人制ラグビーが2014年度から2年連続で県大会で優勝し、九州大会に出場しています。そのほか、始良伊佐地区大会では野球部と女子ソフトボール部が優勝、サッカー部も準優勝するなど高いレ



親子ふれあい奉仕作業

ベルでの文武両道をめざし、体育系12部、文化系6部がそれぞれに活躍しています。

### PTAの取組

本校は三つの専門委員会が活動しており、主だった活動として、総務委員会は、PTA親子ふれあい清掃を主催し、多数の生徒・保護者に参加して、学校の美化活動を行っています。昨年は本校OBで俳優の榎本孝明さんの突然の訪問があり、生徒たちは驚きながらも張り切って清掃に取り組んでいました。

研修委員会は、PTA研修視察を企画し、昨年は卒業生のいる崇城大学と熊本総合リハビリテーション学院を視察させていただきました。またPTA新聞の発行も行っています。

生活指導委員会は、伊佐市内のすべての行事に巡回指導をしており、本校生徒のみならず地域の青少年の健全育成に努めています。また、スマートフォン講演会も開催し、生徒たちの情報モラルの育成にも努めています。

す。

各専門委員会のほかに、母親で構成する女性部会が独自の活動を続けており、文化祭にあわせて「不用品バザー」を行い、毎年盛況を呈しています。

### 地域とともに

さて、ますます進む少子化により、本校も定員割れの状況が続いています。そんな中、中学生

の市外への流出を防ごうと、2014年に伊佐市による大□高校活性化基金が設置されました。

旧帝大と難関私立大の進学者に100万円、他の国立大や同程度の私立大進学者に30万円の奨励金を支給するもので、同基金を使った有名予備校の講師による特別講義も導入することとなり、全国ニュースにも取り上げられ、注目を集めました。これらの効果もあってか、2014年度には鹿児島大学や宮崎大学などの国立大に19人が合格、2015年度は九州大学に合格者を輩出し、進学奨励金100万円第1号が誕生しました。

そして、入学者も増加

し2016年度は81人の新入生を迎えることができました。

地域との繋がりはそれだけにとどまりません。本校同窓会が90周年の際に記念事業として同窓生16人を講師に迎え、大口塾「ユズリハ」を開催しました。

2014年度から、これを「総合的な学習の時間」での取組としました。キャリア教育の一環として、卒業生を中心に社会で活躍する方々から仕

事の内容や生き方を学ぶ講話の時間を設定しています。新しい大口塾「ユズリハ」は、さまざまな職業の方々のご講話で活気づいています。



女性部によるPTAバザー

また、文化祭においては、さまざまな場所で「伊佐の場」を広げて

### 終わりに

本校は、これからも学校、PTA、地域が一体となり「地域に信頼される普通科進学校」として、国際感覚を身につけるとともに郷土を愛し、社会に貢献し信頼される心豊かな人材を育てていきたいと思えます。